

ビジネス環境の整備等に係る検討小委員会

各サブワーキンググループの今後の検討の方向性について

○ ARFP 制度の促進に関するサブワーキンググループ

- ・短期的な課題として、
 - ・本年 12 月末までに ARFP ファンドを輸出することを前提としたスキームについて検討を行う。

○ 証券投資法人制度活用のための環境整備に関するサブワーキンググループ

- ・短中期的な課題として、
 - ・既存の投資法人の枠組み・システムを前提としたシンプルなスキームについて検討を行う。
- ・中長期的な課題として、
 - ・既存の投資法人の枠組みを前提とした、従来の契約型投資信託と遜色ないスキームについて検討を行う。
 - ・新しい枠組みの導入を前提とした、本来の投資法人の特性を踏まえた魅力あるスキームについて検討を行う。

○ 基準価額訂正のマテリアリティ・ポリシーに関するサブワーキンググループ

- ・短期的な課題として、
 - ・基準価額に誤りが発生した場合の統一的な対応方法及び実務上の課題について検討する。
- ・中長期的な課題として、
 - ・投信法 21 条で定める「任務」について法的な観点から議論等を行う。

○ 基準価額の二重計算及び計理処理の改善に関するサブワーキンググループ

- ・短期的な課題として、
 - ・現行のスキームを維持した上で照合不一致をなくす観点から、委託・受託共に、相手側においてどういった問題が出ているかを洗い出し、照合業務を含めた事務の高度化について検討を行う。
 - ・その結果として、委託と受託の間で不要と思われる部分については取り止めることも視野に入れて検討を行う。
- ・中長期的な課題として、
 - ・法律改正や海外のスキームの導入も視野に入れながら、それぞれの役割・責任の明確化、新しいスキームの導入について検討を行う。

○ 業務執行体制の合理化に関するサブワーキンググループ

- ・短期的な課題として、
 - ・各社のニーズと、望ましい形としてこうあるべきという意見を踏まえながら、例えば、時価と銘柄登録といったテーマについて検討を行う。

○ 外部との情報連携等の合理化に関するサブワーキンググループ

- ・短期的な課題として、
 - ・委託会社と関係各社間の情報連絡については、各社の意見も踏まえながら共通化・統一化の検討を行う。
 - ・投資信託の併合については、委託会社以外の関係各社の意見も踏まえながら、併合に係る実務要領の見直し等について検討を行う。